

## 指標 8.5.2

### 指標名、ターゲット及びゴール

**指標 8.5.2** 失業率（性別、年齢、障害者別）

**ターゲット 8.5** 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

**ゴール 8** 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

### 定義及び根拠

○ 定義

労働力人口に占める完全失業者の割合。

○ 概念

労働力人口：15歳以上の人口のうち、「就業者」と「完全失業者」を合わせたもの

完全失業者：次の3つの条件を満たす者

1. 仕事がなく、調査週間に、少なくとも仕事をしなかった（就業者ではない。）。
2. 仕事があればすぐ就くことができる。
3. 調査週間に、仕事を探す活動や事業を始める準備をしていた（過去の求職活動の結果を待っている場合を含む。）。

就業者：調査週間に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を1時間以上した者。

○ 根拠及び解釈

労働供給の不完全な活用を計測するのに有用であるため。

## データソース及び収集方法

労働力調査（基本集計）

## 算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法

$$\text{完全失業率} = \frac{\text{完全失業者数}}{\text{労働力人口}} \times 100$$

比率は労働力調査（基本集計）I-2 表より取得可能。

- コメントと限界  
障害区分を識別出来ない。

## データの詳細集計

男女別、年齢階級別（5歳階級）に取得可能。

## 参考

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index.html>

## データ提供府省

総務省

## 関連政策府省

厚生労働省

## 担当国際機関

国際労働機関（ILO）